

令和2年度の学校評価（目標）

<p>本年度の重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る。 2 学校いじめ防止基本方針に基づき、すべてのいじめの根絶を図るとともに、情報モラルを向上させる。 3 適切な情報提供を行い、確かな進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る。 4 外部との連携を充実させ、学校全体でのE S D活動を推進する。 5 「教員の多忙化解消プラン」に基づき、業務改善に向けた学校マネジメントの推進を図る。 6 保護者・地域に対して、積極的に本校の取組を発信する。 		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>生徒指導 （生徒指導課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルの向上を図る。 ・学年や教育相談部との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「防犯教室」やHR指導、風紀委員活動などを通じて、情報モラルについて取り上げ、身近なテーマとして考えさせる。 ・年度末にはアンケート調査により、意識の変化等を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や誹謗中傷掲載が自身及び被害者だけではなく、学校、家庭、地域社会に多大な影響を与える可能性があることを理解させる。 ・トラブルの事前予防や、事後の適切なフォローが行えるように、学年や教育相談部との連携を密にする。
<p>（2年学年会）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きに物事を捉え、積極的に取り組む姿勢を育てる。 ・リーダーの育成と学年の団結力を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学やHRなどを活用して、自分の前向きな考えや行動を発表する中で、相手の考えや思いをくみ取る力や自分の考えを伝える力を育てる。 ・学校行事では役割を分担し、各自が責任感を持てるような取り組みを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の「自己教育力」育むことを目指し、前向きに学校行事に取り組む姿勢を引き出すよう努める。
<p>（1年学年会）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を確立し、検定取得に対しても意欲的に取り組む。 ・部活動と学業を両立する。 ・生徒指導課と連携し、遅刻・身だしなみ指導を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任会や学年会を通して情報を共有する。 ・教科担任や部活動顧問と生徒情報を共有する。 ・生徒指導課と連絡を密にし、落ち着いた学校生活を送れるよう努める。 ・進路指導課と連携し、将来を見据えた学校生活を送れるようにする。
<p>学習指導 （教務課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを意識した授業展開の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科主任会にて、可能な限り主体的・対話的で深い学びについての情報を提供・共有し授業展開へと結びつける。 ・公開授業週間において、教科や担当科目の枠を越えて、様々な授業を参観し指導方法の共有へと結びつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の授業をベースとし、参加型授業をバランスよく取り入れ、学んだ知識を発表する場を設けることで、学びの質を高め、学ぶことの楽しさを理解させる。 ・授業を参観し合うことで、自身の指導技術の向上と研鑽に務めることに主眼を置く。また、教科の特異性を知る機会としても活用する。
<p>（経理科）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対話的で深い学びの視点による経理教育の充実と授業展開の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計処理について、個々の意味を深く理解させ、ビジネスの視点から学んだことを生かし、判断・分析をさせる。 ・外部講師の活用により、会計分野に興味を持ち、より深く理解させ、主体的に上級資格に取り組むことができるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に自ら学び、深く考えて理解させることを心掛け、企業を取り巻く経営環境に興味を持たせるとともに、会計情報からの確かな判断・分析をさせる。 ・経理の専門家として活躍できる人材の輩出を目指し、対話的で深い学びができるよう授業展開を工夫する。
<p>（事務科）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラム実施に向けて、準備を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学科会において、新カリキュラム実施に向けて、その内容について検討していく。 ・講師招聘や連携教育を実施し、マナーを習得させ、実践できる機会を 	<ul style="list-style-type: none"> ・新科目の授業展開等を小学科会で継続的に検討し、確立していく。 ・授業や連携教育で学習した内容を日頃から実践できる機会を設ける。

	<ul style="list-style-type: none"> 発展的なマナー教育に対する効果的な指導方法の研究 	数多く設定する。	
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学習指導 (情報処理科)	<ul style="list-style-type: none"> 新カリキュラムの先行実施について準備を進める。 ICT機器を活用したアクティブ・ラーニングについて研究を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学科会を活用し、新カリキュラムの具体的な実施内容についてコンセンサスを図る。 昨年度までのアクティブ・ラーニングに加え、ICT機器を活用した教材とその評価方法について研究を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 新カリキュラムで使用する参考書等についても小学科会にて審議する。 文部科学省研究指定事業にて購入したICT機器を活用する。
(国際ビジネス科)	<ul style="list-style-type: none"> 新カリキュラムについて準備する。 連携企業と協働して生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学科会を開催し、新カリキュラムにおける科目の授業内容を検討する。 連携企業と連絡を密にとり、発表や発言する機会を多く設定し、自らが成長を実感できる授業展開をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 科で育てたい生徒像を明確化し、全員で共有した状態で授業内容を検討する。 企業と年間の計画を立て、定期的に講習をしていただけるようにする。
(図書課)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用促進と環境及び情報整備 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒のみならず職員に対しても図書館の利用を積極的に働きかけるとともに、魅力ある図書館づくりを心掛ける。 データベース化が完了したことによって不要になった備品等を整理するとともに写真等の資料を電子化し整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい図書館を目指し、更なる広報活動に努める。 図書委員を積極的に活用し、校内ビブリアバトルを継続するとともに、生徒からPOP作品を募集するなどして、図書館の利用促進に努める。 備品や図書等の処分や整理を積極的に行い、環境整備に努める。
進路指導 (進路指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 変化する社会に対して生徒が柔軟に対応できるようにするために、確かな進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度大学入学選抜改革が行われる。そのため、正確で最新の情報を、生徒及び保護者に伝える。 生徒が自己の特性等と将来の進路との関りから「夢のマッチングフェア」、「卒業生による企業説明会」及び「社会人講話」を活用し、最新の企業・学校の情報を提供し、確かな進路実現に向けたキャリア教育をおこなう。 「新学習指導要領」改訂の趣旨を熟知し、本校における今後のキャリア教育の充実に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の収集、資料の活用を促し、何をなすべきかを自覚できるようにする。
(3年学年会)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の能力・適性の自己理解と個性の伸張を図り、多様な進路希望の実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が自らの進路を主体的に考え、より良い選択ができるように、適切な情報提供及び助言や指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年会での情報交換及び進路指導課との連携を密にし、生徒一人ひとりにとって適切な指導・対応を心がける。
生徒会活動 (生徒会課)	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の活性化 生徒会会計の適正化 	<ul style="list-style-type: none"> 愛商祭および球技大会を活性化する。 生徒会会計の収支の安定化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年や分掌と連携して学校行事を活性化する。 来年度以降を視野に入れて生徒会会計を適正化する。

教育相談 (保健課)	・教育相談体制の 充実	・スクールカウンセラー来校日を活用する。 ・関係の職員と情報の共有を図りながら適切な対応に努める。	・個々の教員で抱えることなく、学年団あるいは関係職員と連携を図り、チームで取り組むことができるように努める。
P T A 行事 (総務課)	・P T A行事及び 中学生体験入学 等の諸行事を充 実させる。	・行事の内容や意義を教職員に周知し、理解や協力を得る。 ・行事の内容を検討し、充実させる。	・きずなネットやホームページを活用し、 行事のP Rを図る。
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
情報管理 (教育情報課)	・情報通信技術 (I C T)活用 に関する環境整 備及び情報の提 供	・教室棟でタブレット端末が利用できる環境整備を行う。 ・職員会議等を通じ、I C T活用に関する情報提供を行う。	・各階のH R教室でタブレット端末が利用できる環境を整える。 ・情報化推進研修を通じて、I C T活用に関する情報を提供する。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		1 生徒が生き生きと楽しく活動できる学校づくりができたか。 2 教職員がやりがいを持てる学校づくりができたか。 3 保護者・地域に対して開かれた学校づくりができたか。	